

コミュニティ・スクールにおける コーディネーターの役割



学校支援地域カレンダーの作成

地域への愛着を
育む学び

生き方・進路指導を
充実させる力を育む学び

防災教育を
中心とした学び

ふるさと科の三つの柱



○ 地域への愛着を育む学び

- ・ 地域の歴史や特産を学び、地域社会への関心を高め、主体的にかかわる態度を育成する。
- ・ 郷土の文化、郷土芸能を学び、郷土への愛着心を高める。
- ・ 町の復興発展をとらえ、ふるさとの将来像を見つめる。

○ 生き方・進路指導を充実させる力を育む学び

- ・ 郷土の産業や経済を学び、憧れをもち、生き方や進路指導を考えさせる。
- ・ 復興をめざす地域社会の中で自分の役割を理解し、主体的に将来を切り拓く能力を育成する。
- ・ 地域や多様な企業・団体と連携した職場体験により、生き方を考え実現しようとする態度を育成する。



○ 防災教育を中心とした学び

- ・ 郷土の自然・地形や災害、防災体制の意義について理解を深め、災害時や防災に対する主体的な判断力と実践力を育成する。



学校支援地域カレンダーの作成



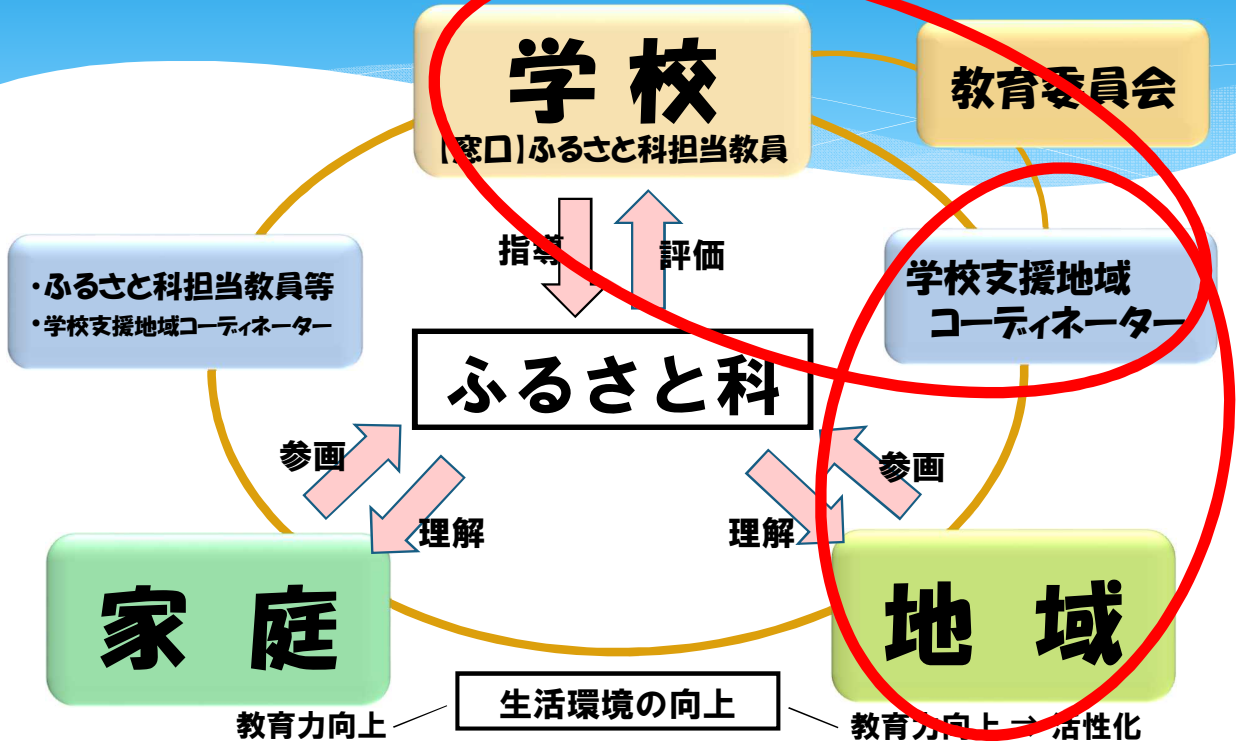
1500部を配布

各学園・高校PTA、役場、公民館、各事業所、商工会、地域ボランティア等

ふるさと科
ワカメの収穫作業



学校支援地域コーディネーターの配置





地域学校協働本部（井戸端会議室）

Q どこにありますか

A 大槌学園の体育館前にあります。





「ふるさと科」のコーディネーター
町探検：「若だんな会」との連携・協働



2 「ふるさと科」のコーディネーター
町探検：「若だんな会」との連携・協働



2 「ふるさと科」のコーディネート

町探検：「若だんな会」との連携・協働



「ふるさと科」のコーディネート

「鮭」学習：漁協・漁師・鮮魚店との連携・協働



「ふるさと科」のコーディネーター

「鮭」学習：漁協・漁師・鮮魚店との連携・協働



「ふるさと科」の
コーディネーター

「鮭」学習：漁協・
漁師・鮮魚店との
連携・協働

「ふるさと科」のコーディネーター

「鮭」学習：漁協・漁師・鮮魚店との連携・協働



「ふるさと科」のコーディネーター

郷土料理：地域のお年寄りとの連携・協働



「ふるさと科」のコーディネーター

昔遊び：地域のお年寄りとの連携・協働



「ふるさと科」のコーディネーター

職場体験学習：大槌町内の企業・事業所



「ふるさと科」のコーディネーター

職場体験学習：大槌町内の企業・事業所



49

「ふるさと科」のコーディネーター

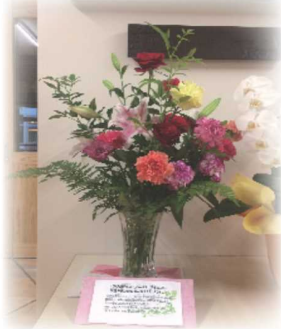
職場体験学習：大槌町内の企業・事業所



50

「ひびき鮮魚店」さんより、頂きました。
開店お祝いのお花のおすそ分けです。

「ひびき鮮魚店」さんは、震災前 御社寺の池の前ありました。
震災後は、和野の仮設店舗で営業し、お弁当を配達したり
地域の皆さんの生活を支えて下さいました。
また、9年ふるさと科職場体験でもお世話になっています。
新しいお店は、御社寺の池の隣です!!



大槌学園正面玄関前



いどばた会議室

ひびき鮮魚店さん、どうもありがとうございました。
これからも、よろしくお願いします。

《大槌町立大槌学園》

「ふるさと科」の
コーディネーター

職場体験学習：
大槌町内の
企業・事業所

井戸端会議室での打ち合わせ



ベルマーク活動（井戸端会議室）



ベルマーク活動（井戸端会議室）





コミュニティ・スクールの取組を通して

◇ 「ふるさと科」の充実

「ふるさと科がすき」

27年83% → 28年**93%**

◇ 学校と地域住民のつながり

→ 学校支援ボランティアが年々

増え、つながりが強まっている。

コミュニティ・スクールの取組を通して

◇ 学校支援地域コーディネーターや地域の方との連携による「ふるさと科」のさらなる充実。

◇ 先生方も子どもたちの「主体的な学び」を意識して取り組んでいる。

◇ 地域と学校が両輪となって発展している。

課題

- ・地域コミュニティが再生されていない弊害。
- ・思うように進まない子どもを取り巻く環境の改善。
- ・ふるさと科の発信。

59

